

## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 ベイシス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4068 URL <https://www.basis-corp.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 公孝  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 高野 竜介 TEL 03(6435)9907  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	2,884	-	△67	-	△68	-	△58	-
2023年6月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）包括利益 2024年6月期第2四半期 △58百万円（-%） 2023年6月期第2四半期 -百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	△31.59	-
2023年6月期第2四半期	-	-

（注）1. 2024年6月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年6月期第2四半期の各数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。  
2. 2024年6月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	3,848	1,898	49.3
2023年6月期	-	-	-

（参考）自己資本 2024年6月期第2四半期 1,898百万円 2023年6月期 -百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年6月期	-	0.00	-	-	-
2024年6月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,035	-	127	-	120	-	79	-	42.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）株式会社アヴァンセ・アジル、除外 1社 （社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	1,862,411株	2023年6月期	1,856,870株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	40株	2023年6月期	40株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	1,861,163株	2023年6月期2Q	1,853,406株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年7月1日から2023年12月31日)におけるわが国の経済は、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、不安定な国際情勢や円安等の影響に伴う資源価格や物流費の上昇により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社の事業領域であるモバイルエンジニアリング分野においては、通信キャリア各社が足元の設備投資を抑制するとともに、今後もコスト抑制要請は進むことが予想されます。

一方で通信事業者以外では、IoTエンジニアリングサービスで展開しているスマートメーター設置サービスにて生活インフラ業界におけるスマートメーター設置が進み、引き続き堅調に推移しております。また、2023年9月よりIoT機器設置における工程の進捗や作業員、IoT機器を効率的に管理できるSaaS「BLAS(プラス)」を有償化し、一般提供を開始いたしました。

そのため、成長が見込まれるIoTエンジニアリングサービスに経営リソースをシフトさせることで今後の長期的な事業成長を進めてまいります。また、中期経営計画の方針に基づきサーバーやネットワーク関連のITインフラ領域への事業拡大を進めるため、人材サービス事業を展開する株式会社アヴァンセ・アジルの全株式をインターライフホールディングス株式会社より取得いたしました。株式会社アヴァンセ・アジルは当社と同じ通信業界において人材派遣事業を営んでおり、特に幅広いNTTグループ企業を主たる得意先としてサービス展開を行っている企業であります。それらにより営業・マーケティング網を相互活用することによる営業上のシナジーを見込んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,884百万円、営業損失67百万円、経常損失68百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失58百万円となりました。

なお、当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、サービス別の売上内訳といたしましては、モバイルエンジニアリングサービス1,780百万円、IoTエンジニアリングサービス1,009百万円及びその他94百万円となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は3,848百万円となりました。これは主に現金及び預金1,134百万円、売掛金1,623百万円、仕掛品306百万円、のれん230百万円及び投資その他の資産266百万円等であります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,950百万円となりました。これは主に短期借入金800百万円、買掛金303百万円、未払費用257百万円及び長期借入金311百万円(1年以内返済予定の長期借入金を含む)等あります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,898百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期の業績見通しにつきましては、株式会社アヴァンセ・アジルのグループ化に伴い売上高は7,035百万円、営業利益は127百万円、経常利益は120百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は79百万円を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,134,834
売掛金	1,618,921
仕掛品	306,278
前払費用	60,039
その他	2,133
流動資産合計	3,122,207
固定資産	
有形固定資産	
建物	38,858
減価償却累計額	△15,557
建物(純額)	23,300
工具、器具及び備品	122,174
減価償却累計額	△12,104
工具、器具及び備品(純額)	110,070
有形固定資産合計	133,370
無形固定資産	
のれん	230,996
ソフトウェア	52,120
ソフトウェア仮勘定	43,818
無形固定資産合計	326,936
投資その他の資産	
繰延税金資産	82,797
その他	183,362
投資その他の資産合計	266,159
固定資産合計	726,466
資産合計	3,848,673

（単位：千円）

当第2四半期連結会計期間  
（2023年12月31日）

負債の部	
流動負債	
買掛金	303,270
短期借入金	800,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000
未払金	78,920
未払費用	257,702
未払法人税等	16,151
賞与引当金	112,660
預り金	22,936
その他	34,273
流動負債合計	1,670,915
固定負債	
長期借入金	266,250
退職給付に係る負債	13,311
固定負債合計	279,561
負債合計	1,950,476
純資産の部	
株主資本	
資本金	334,897
資本剰余金	285,697
利益剰余金	1,277,904
自己株式	△302
株主資本合計	1,898,196
その他の包括利益累計額	
その他の包括利益累計額合計	-
非支配株主持分	-
純資産合計	1,898,196
負債純資産合計	3,848,673

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高	2,884,189
売上原価	2,228,700
売上総利益	655,488
販売費及び一般管理費	722,841
営業損失(△)	△67,352
営業外収益	
受取利息	3
受取保険金	407
その他	6
営業外収益合計	418
営業外費用	
支払利息	1,724
株式交付費	90
営業外費用合計	1,814
経常損失(△)	△68,748
特別損失	
投資有価証券評価損	19,999
特別損失合計	19,999
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,748
法人税等	△29,947
四半期純損失(△)	△58,800
(内訳)	
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△58,800
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-
その他の包括利益	-
四半期包括利益	△58,800
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,800
非支配株主に係る四半期包括利益	-

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

当第2四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失（△）	△88,748
減価償却費	18,409
投資有価証券評価損益（△は益）	19,999
賞与引当金の増減額（△は減少）	240
受取利息	△3
支払利息	1,724
売上債権の増減額（△は増加）	242,849
棚卸資産の増減額（△は増加）	△43,016
仕入債務の増減額（△は減少）	△22,357
未払費用の増減額（△は減少）	94,551
未払金の増減額（△は減少）	△63,968
その他の資産の増減額（△は増加）	△12,880
その他の負債の増減額（△は減少）	△10,889
小計	135,910
利息の受取額	3
利息の支払額	△1,709
法人税等の支払額	△76,117
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,086
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△3,019
無形固定資産の取得による支出	△24,507
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△267,751
敷金及び保証金の回収による収入	2,056
保険積立金の積立による支出	△5,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298,229
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	315,000
長期借入金の返済による支出	△3,750
株式の発行による収入	2,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	313,302
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	73,159
現金及び現金同等物の期首残高	1,061,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,134,834



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、株式会社アヴァンセ・アジルの100%の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）

当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。